

火災を知る

住宅火災の多くは日ごろの暮らし方や心がけで予防することができます。
主な出火原因を知り、火災予防の対策を始めましょう。

01

甲府市の出火原因は？

令和3(2021)年に甲府地区消防本部管内で発生した火災件数は79件。そのうち「たばこ」が原因の火災が12件発生し、全体の約15%を占めました。「たばこ」が原因の火災が増えているので注意が必要です。その他にも「たき火」、「配線器具」、「こんろ」など、さまざまな原因で火災が発生しています。

02

新潟県で発生した大規模火災

平成28(2016)年12月22日、新潟県糸魚川市のラーメン店において大型コンロの消し忘れが原因で出火し、焼損棟数147棟(全焼120棟、半焼5棟、部分焼22棟)の大規模火災となりました。当日は強風注意報が発表されており、強風にあおられて大量の火の粉や燃えさが飛散して延焼が拡大していきました。火災発生から約30時間後に鎮火した被災エリアは一面の焼け野原と化しました。



糸魚川市火災

写真提供：NPO 法人 災害・防災ボランティア未来会

03

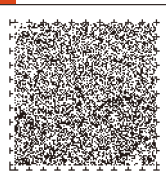
甲府市で発生した林野火災

平成20(2008)年12月28日、甲府市大蔵経寺山で発生した林野火災は平成21(2009)年1月1日に鎮圧されるまでの5日間に、約55.2ヘクタールの林野を焼失する火災になりました。当時は空気が乾燥した状態が続いており、また強風も吹いたことから鎮圧までには長い時間を要し、地域住民の一部は一時避難するなど、大規模火災となりました。



大蔵経寺山林野火災

写真提供：甲府地区消防本部



利用していますか？防災品

寝具や衣類、カーテンなどの繊維製品への着火による火災を防ぐため、燃えにくい防災品を選ぶことも対策のひとつです。



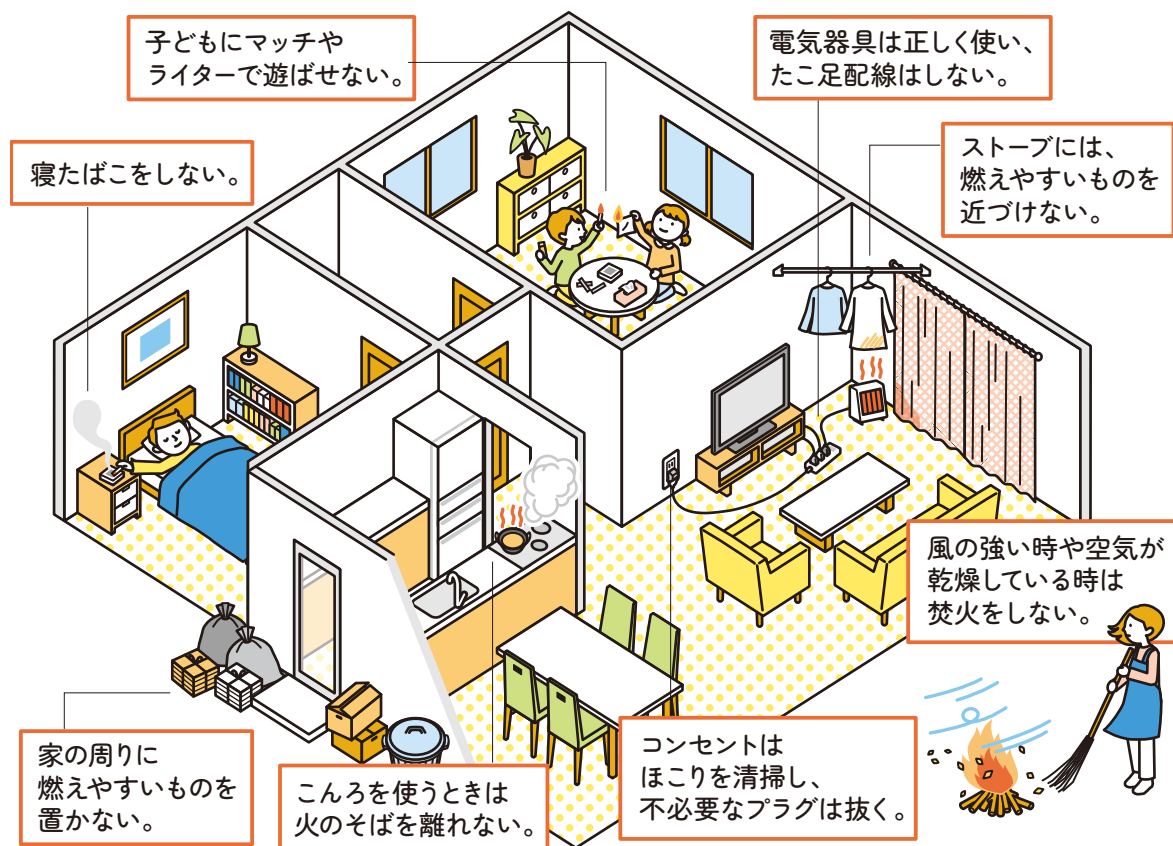
防災物品ラベル



防災製品ラベル

家の中の安全対策

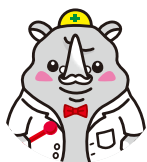
家の周りや室内の危険箇所を確認して、火災予防を日ごろから意識しておきましょう。



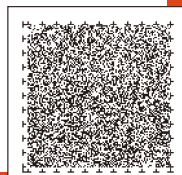
みんなで確認しよう



家の中も外も、すっきりきれいにしておくことが火災の予防につながるんですね。



日ごろから、燃えやすい環境をつくらないことが火災予防の第一歩です！それに、家や家の周囲を整理・整頓しておくことは、地震や台風などの備えにもなります。寝る前に必ず火の元の確認をするなど、防火の習慣を家族みんなでつけておくことも大切です。



火災

火災から身を守る

火災が発生したらまず通報と初期消火、避難等が必要になります。

火災の状況を見極め、落ち着いて臨機応変に対応しましょう。

火災発生

①近所に知らせる



119番通報

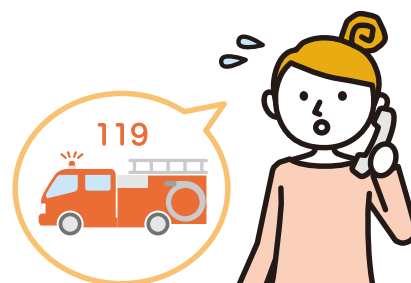
大声で叫ぶ

一人で消そうとしないで「火事だー!」と大声で叫び、家族や隣近所に助けを求めましょう。声が出せないときは、鍋やフライパンなどを叩き、音で知らせましょう。



落ち着いて通報する

小さな火災でも通報する。



通報例

「 」内は通報者

- ①119番消防です。火事ですか?救急ですか?「火事です。」
- ②住所はどこですか?「甲府市〇〇一丁目1-1です。」
- ③何が燃えていますか?「〇〇が燃えています。」
- ④あなたの名前と電話番号を教えてください。
「甲府花子です。電話番号は、237-1161です。」

確認しよう!防火対策!



住宅用消火器

キッチンの近く、廊下や玄関のすみなど、もしもの時に使いやすい場所に置きましょう。



感震ブレーカー

地震による強い揺れを感知して電気を遮断する機器。漏電遮断器や消火器などとあわせて備えると、さらに効果的です。

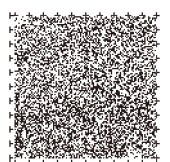
ろうでんしゃだんき
漏電遮断器

分電盤に取り付け、家の中のどこかで漏電すると約0.1秒で自動的に家中の電気が切れる装置。設置しておく心安心です。



住宅用火災警報器

火災で死亡される方の多くは、就寝中によるものです。消防法により、すべての住宅に火災警報器の設置が義務付けられています。逃げ遅れを防ぐために非常に有効です。また、10年を目安として機器の交換をお勧めします。



初期消火について考えよう

消火器での初期消火が可能なのは天井に火が届くまでといわれています。大声で周囲の人に火災を知らせ、協力して消火活動をする 것도大切です。天ぷら油に火がついた時は、絶対に水をかけてはいけません。爆発的に炎が広がったり油が飛び散り非常に危険です。

② 初期消火

消火器や水等で消火

危険

油火災に水を使用すると、水蒸気爆発を起こすので、絶対しない！



天井まで火が届いたり、煙が充満した場合は、消火をあきらめてすばやく逃げましょう！

③ 避難

すばやく逃げる！

延焼を防ぐためドアや窓を閉め、空気を遮断すると有効！



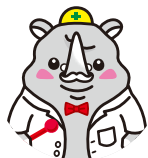
避難の心得

- 服装や貴重品にこだわらない！
- 一度避難したら、絶対に建物内に戻らない！
- 煙の中では、ハンカチや服の袖口等で口や鼻を覆い、姿勢を低くし、壁伝いに避難する！
- マンションの場合はエレベーターは使わず、下の階に逃げる！

みんなで確認しよう



火災の時、煙を吸わないように注意するのはどうしてですか？
火災予防機器の確認や家の内外を整理・整頓する以外にも、日ごろからできることはありますか？



火災による煙は一酸化炭素などの有毒ガスを含んでいるので、吸い込むと意識を失うことがあり非常に危険です。
住宅火災では「逃げ遅れ」で亡くなる人が多いので、お年寄りや身体が不自由な人を守るために、日ごろからご近所の方々と協力体制をつくっておくようにしましょう。

